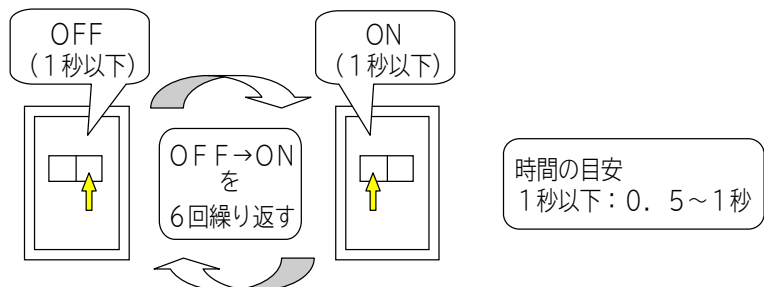


- 電源ONの状態から、1秒を目安に“OFF→ON”の操作を6回繰り返す。
6回目の電源ON状態で約3秒後に照度補正機能が解除されます。



解除操作後、明るさが変化しない場合は、照度補正機能の解除が正しく行われていません。再度、解除操作を行ってください。

- 照度補正機能を解除した後に、上記の操作を行うと再度、照度補正機能に戻ります。
この操作をすると、照度補正機能の累積点灯時間タイマーがリセットされますのでご注意ください。

ご使用上の注意

- 照度補正機能解除操作を行ったときに、万一、同一スイッチ回路に接続された器具の照度補正と定格出力の状態が混在した場合は次の操作をしてください。すべての器具が累積点灯時間タイマーがリセットされ、照度補正機能動作状態になります。
〔電源ONの状態から、電源OFF（1秒以下）→電源ON（1秒以下）を16回繰り返す〕
- 器具の汚れに対する補正はできません。定期的に清掃をしてください。

3. 仕様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

形式	種別	定格入力電圧 [V]	定格消費電力 [W]	平均消費電力 [W]	定格入力電流 [A]	質量 [kg]
MVE1401NN-N24	固定出力形	200-242	150	—	0.76-0.64	10.9
MVE0901NN-N24			100	—	0.51-0.43	9.6
MVE1401NN-J24	照度補正形		150	130	0.76-0.64	10.9
MVE0901NN-J24			100	87	0.51-0.43	9.6
MVE1401NN-Z24	連続調光形		150	—	0.76-0.64	11.0
MVE0901NN-Z24			100	—	0.51-0.43	9.7

注意：平均消費電力とは照度補正による初期から寿命までの消費電力の平均値です。

4. お手入れ

- みがき粉・アルカリ性薬品・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんなどでふいたり、殺虫剤をかけない。
割れ・キズ・変色・落下によるけがの原因となります。
- 点灯中や消灯直後は、器具が高温になっていますので、手を触れない。ヤケドの原因となります。

- お手入れは必ず電源を切ってから行う。感電・ヤケドの原因となります。
- 清掃する際は水で浸したやわらかい布をよく絞り、汚れをふき取った後、乾いた布で拭く。

5. 保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、点灯装置は3年間です。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

 日立アプライアンス株式会社

2-K9522-1 R1

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03)3502-2111

取扱説明書

日立LED照明器具

HITACHI
Inspire the Next

保管用

高天井用LED照明器具（壁面取付形）

固定出力形： MVE1401NN-N24, MVE0901NN-N24

照度補正形： MVE1401NN-J24, MVE0901NN-J24

連続調光形： MVE1401NN-Z24, MVE0901NN-Z24

●電源電圧は200～242Vまで対応

- 器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。

工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は

表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

図記号の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

警告



- 定格入力電圧±6%以外の電圧で使用しない。火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 防爆形ではありません。引火する可能性がある所で使用しない。ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんの所で使用しない。火災の原因となります。
- 壁面取付専用です。傾斜天井などへ取り付けしない。落下によるけがの原因となります。



- 取付工事は「3. 取り付けかた」に従い、確実に行う。不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 高所での取付工事は安定した足場を確保し、落下防止対策を行う。落下によるけがの原因となります。

注意



- 一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気が多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・油煙等の発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。破損により、けがの原因となります。
- 周囲温度－10～35℃以外の場所では使用しない。火災、不点灯、短寿命の原因となります。（夏季など一時的に45℃まで上昇する場所で使用することは可能です。）
- 放熱を妨げるような狭い空間で使わない。器具が過熱し、火災の原因となります。
- ガラスカバー面を下にして、床などに直接置かない。ガラスカバーの割れ・キズの原因となります。
- ケーブルを引っ張ったり、押し込んだりしない。故障の原因となります。

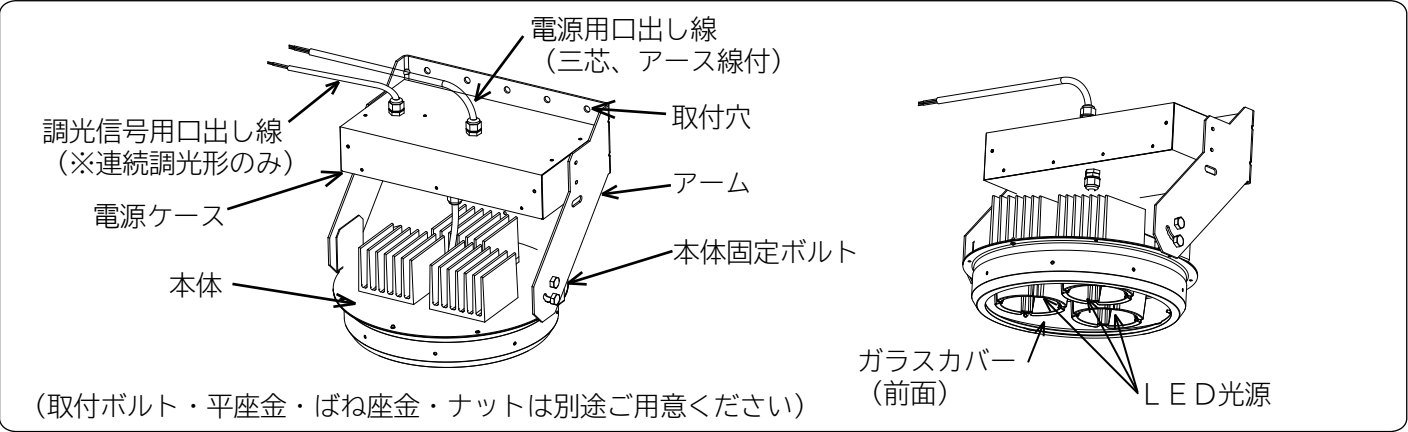


- 器具と被照射物は1m以上離して使用する。それより近いと、火災、被照射物の変色、変形の原因となります。

ご使用上の注意

- 絶縁抵抗試験は必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いる。保護機能が作動し、不点灯の原因となります。
- 当社専用信号方式の制御装置以外と組み合わせて使用しない。不点灯や動作不良の原因となります。

2. 各部の名前



3. 取り付けかた

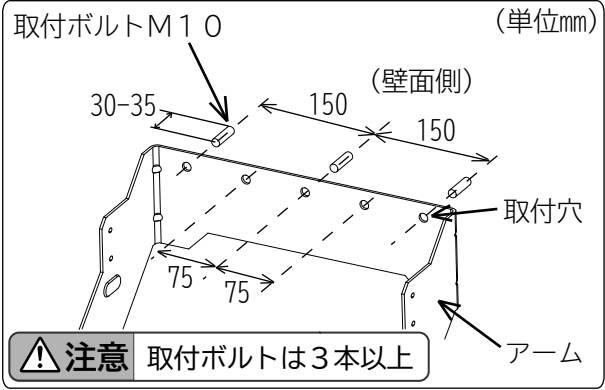
1. 取り付け前に確認する。

- 取付ボルトは器具質量(表1)に十分耐える補強のある壁面に設けてください。
- 取付ボルト3本以上を取付穴中心に対して均等に設けてください。
- 取付ボルトの寸法は取付穴を参照してください(図1)。

図1 取付ボルト施工寸法

表1 器具質量

形式	質量
MVE1401NN-N24	10.9kg
MVE1401NN-J24	
MVE1401NN-Z24	
MVE0901NN-N24	9.6kg
MVE0901NN-J24	
MVE0901NN-Z24	



2. 器具を取り付ける。

- 安全上、二人以上で作業を行ってください。
- 取付ボルトに取付穴を通し、平座金・ばね座金・ナットを用いて、緩みのないように確実に固定してください(図2)。ナットはダブルナットで締め付けてください(推奨締付トルク25N・m)。
- 角度を変更する場合は、本体側面のボルトを緩め、角度を調整したのち、緩みのないように確実に締め直して固定してください(図3)(推奨締付トルク15N・m)。

図2 器具取付

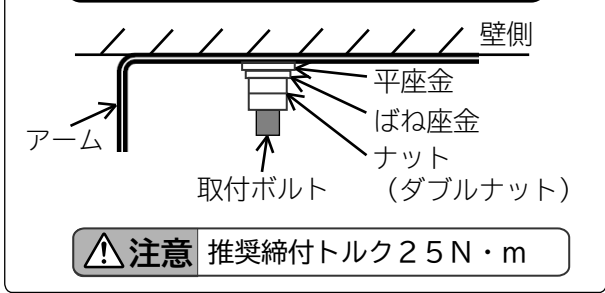
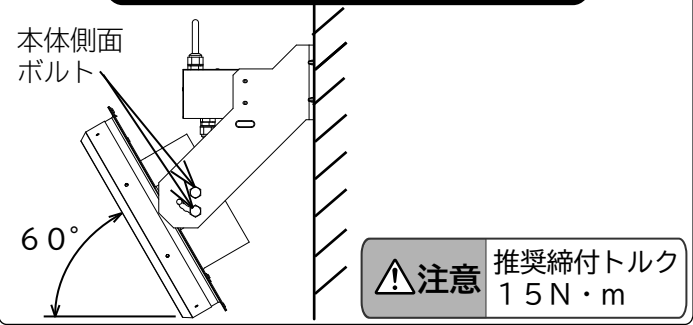


図3 角度を変更する場合



3. 電源用口出し線を電源線、アース線に接続する。

- 電源線は600Vビニルキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用してください。
- 電気設備の技術基準に従い、電源用口出し線(黒・白)を確実に接続してください。接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因となります。
- アース線(赤)を使用して、D種(第3種)接地工事を確実に行ってください。工事が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- 接続部は絶縁テープ等で絶縁被膜処理を確実に施してください。接続部の絶縁処理が不完全な場合、漏電・感電の原因となります。

4. 器具の調光信号口出し線に調光信号線を接続する(※連続調光形のみ)。

- 制御装置への接続可能台数を確認する。
制御装置には接続可能な点灯装置の台数に制限があります。詳細は制御装置の仕様書を確認してください。
MVE1401NN-Z24は点灯装置を3台、MVE0901NN-Z24は点灯装置を2台内蔵していますので注意してください。
- 電気設備の技術基準に従い、器具の調光信号用口出し線(二芯)に調光信号線を確実に接続してください。
接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因となります。また、電源線への誤接続は、器具破損により、火災の原因となります。
調光信号線は通信用ケーブル(CPEV等)を使用してください。調光信号線に極性はありません。
- 接続部は絶縁テープ等で絶縁被膜処理を確実に施してください。接続部の絶縁処理が不完全な場合、漏電・感電の原因となります。

5. 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認してください。

6. 正常に点灯するか確認してください。

お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

1. 安全上のご注意(必ずお守りください)

警告



- 器具を改造しない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいものでおったり、かぶせたりして使用しない。火災の原因となります。



- 煙が出たり、異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切る。火災・感電の原因となります。
- お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因となります。

注意



- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- LED光源を直視しない。目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ガラスカバーを破損したままで使用しない。性能を保てないことやガラスカバーの落下によるけがの原因となります。



- 明るく安全に使用するために、定期的に清掃・点検をする。3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施し、不具合がある場合は交換する。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので、点検・交換する。
(使用条件は周囲温度30℃です。)

ご使用上の注意

- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのは避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用は避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一器具内でもLED素子のバラツキによる発光色のムラ、明るさのムラが生じることがあります。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては明るさのムラが発生することがあります。
- 器具一体型のため、LED光源は交換できません。交換の際は器具ごと交換してください。

2. 照度補正機能について(※照度補正形のみ対応)

- 照度補正機能 : 新しいLED光源は初期に設計照度以上の明るさが出ている。
設計照度を考慮して明るさを自動で調光する機能です。

照度補正機能を解除して使用する場合の操作

照度補正機能を使用せず、定格出力で点灯させたい場合は、次の操作をしてください。
同一スイッチ回路に接続されたすべての器具の照度補正機能が解除されます。